

令和2年度 松前町病院事業会計 決算説明書

令和2年度病院事業会計決算について、その概要をご説明いたします。

まず、10ページから18ページの「病院事業報告書」でございます。10ページ「(1)概況」の「ア総括事項」では、現状及び今後も地域医療発展の考え方を掲げております。

次に11ページ①患者数の状況では、入院延べ23,985人、外来延べ46,823人で、前年度と比べて入院患者数は544人の減、外来患者数は2,255人の減となっております。この詳細は、14ページの「(3)業務」に掲げております。

11ページから12ページの②収益的収入、支出の状況では、収入決算額13億881万681円で、入院を中心とした医業収益は9億8,406万828円、前年度比0.4%増、医業外収益は3億2,474万9,853円で、前年度比4.3%増となっております。

支出では決算額１３億８，０４４万６，４１４円で、給与費、材料費等の医業費用が１３億２，４９４万２，０１７円、医業外費用は５，０８８万３，７９５円、特別損失は、４６２万６０２円となっております。

この結果、当年度純損失が７，１６３万５，７３３円となりました。詳細は、１５ページから１６ページの「イ事業収入に関する事項、ウ事業費に関する事項」に掲げております。

次に同じく１２ページの③資本的収入、支出の状況については、収入として企業債、補助金、固定資産売却代金、貸付金返還金を、支出として建設改良費、企業債償還金、投資の内容を掲げております。

次に１ページから２ページにお戻り願います。「病院事業決算報告書」でございます。「収益的収入及び支出」の収入では、決算額１３億１，３５６万９，５６６円で予算額に比べて８６２万８，５６６円の増額となりました。これは、医業収益のうち、入院収益が見込みより上回ったことが主な要因です。決算額の内訳については、２０ページの「収益費用明細書」に掲げております。

一方、支出では決算額１３億７，２０５万１，３６３円となり、不用額９，００５万７，６３７円となっております。決算額の内訳については、２１ページから２２ページに掲げております。

次に3ページから4ページは「資本的収入及び支出」で、収入決算額1億5,099万4,668円で、企業債6,010万円、補助金9,059万3,000円、固定資産売却代金5万5,000円、貸付金返還金24万6,668円となっております。また、支出の決算額は、1億6,008万4,019円で、建設改良費1億4,500万7,149円、企業債償還金1,315万6,870円であります。

なお、資本的収入額が資本的支出額に不足する額908万9,351円は、減債積立金100万円、過年度分損益勘定留保資金808万9,351円で補てんしました。

次に5ページは、財務諸表のうち「損益計算書」であります。1の医業収益から6の特別損失までトータルすると当年度純損失7,163万5,733円となり、当年度末の処理利益剰余金として2億876万6,387円が繰り越しとなりました。

この内容につきましては、13ページ「議会議決事項」、「行政官庁認可事項」及び「職員に関する事項」、14ページから15ページ「建設改良費の概況」及び「業務量」、15ページから16ページ「事業収入に関する事項」及び「事業費に関する事項」、16ページから17ページ「重要契約の要旨」及び「企業債及び一時借入金の概況」、18ページ「たな卸資産の概況」、20ページから22ページ「収益費用明細書」にそれぞれ記載しております。

次に6ページは、「剰余金計算書」のうち資本剰余金合計の当年度末残高は2億1,047万9,629円、利益剰余金合計の当年度末残高1億4,545万2,654円となり、資本合計の当該年度末残高は10億223万204円となるところです。

次に7ページは、「剰余金処分計算書」ですが、未処分利益剰余金当年度末残高は、1億3,813万654円となり翌年度へ繰り越ししようとするものです。

次に8ページから9ページは「貸借対照表」で、1の固定資産から2の流動資産までの資産合計は16億6,761万8,395円となります。負債は3の固定負債から5の繰延収益まで6億6,538万8,191円、資本は6の資本金から7の剰余金まで合計10億223万204円となります。この内容につきましては、23ページから26ページ「固定資産明細書」及び「企業債明細書」にそれぞれ詳細を掲げております。また、19ページには「キャッシュ・フロー計算書」を掲げております。

以上が令和2年度松前町病院事業会計決算の内容であります。